

基本目標3 子どもが心身ともに健やかに学び育つまちづくり

子どもが、社会や生活環境の変化に柔軟に対応して個性豊かに主体的に生きる力を身に付けるとともに、生命を尊ぶ心を育むことの重要性を認識し、次代の親へと成長していくことが期待されます。

子どもが自らを大切に、社会性を身に付けるように支援したり、家庭、保育所、幼稚園、学校など地域全体で、様々な学習の機会を通して豊かな人間性を培うため、教育環境の整備を推進します。

主要施策3-1 次代の親の育成

事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算額
3-1-1	学習情報の収集と提供 (重複掲載 3-3-13)	子どもや保護者等の多様な学習ニーズに対応するため、幅広い学習情報の収集と提供を行います。 ■生涯学習情報誌「鎌倉萌」を発行 ★毎月10,000部 年間120,000部	事業の継続	生涯学習課 (教育総務課) 4,500千円
3-1-2	性(命)の尊重、男女平等についての啓発 (実) (実施計画 事業名は「男女共同参画社会の推進」)	男女が正しく性を理解・尊重しあうこと、お互いが協力して家庭生活・社会生活を築く男女共同参画についての啓発を行います。 ★男女共同参画市民ネットワーク「アンサンブル」と協働実施 ■フォーラム「共に生きる未来」 ★1回 ■イベント ★3回 ■セミナー ★1回 ■情報誌「パスポート」 ★2回	事業の継続	人権・男女共同参画課(文化人権推進課)
3-1-3	小学生と保育園児・幼稚園児の交流 (重複掲載 3-2-9)	生活科の授業、総合的な学習の時間や小学校の行事等(運動会、各学校で行われる子どもまつり等)を通して、小学生と保育園児や幼稚園児の交流を推進します。 また、就学を控えた園児と同じ地域の小学校低学年の児童が、一緒に活動し交流を行います。 ★各小学校に幼保小交流事業担当者をおき、小学校区単位で交流事業の推進に努めました。 ★各園にて就学前の訪問、運動会の競技への参加等交流を実施。	市立小学校全校での交流実施を継続	教育センター 教育指導課 保育課
3-1-4	中学生と保育園児・幼稚園児の交流 (重複掲載 3-2-10)	市立中学校の生徒が、保育所や幼稚園で総合的な学習の時間で「職場体験学習」や技術・家庭科の家庭分野の学習の中で「保育体験」を行います。 ★市立中学校全校で職場体験学習や技術・家庭科、総合的な学習の時間等の学習の中で取り組みました。	市立中学校全校での実施を継続	教育指導課 保育課
3-1-5	道徳教育での啓発	主として他の人とのかかわりに関することの中で、「男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する」ことについて、教科書や机上の学習だけでなく、体験を通して学ぶことに努めます。 ★道徳教育はすべての教育活動を通じて行いました。 道徳の時間はすべての学校で年間35時間(小学1年生のみ34時間)行いました。	事業の継続	教育指導課
3-1-6	特別活動での啓発	学級活動の中で、「男女相互の理解と協力」について、教科書や机上の学習だけでなく、体験を通して学ぶことに努めます。 ★学級活動は毎日の朝の会や帰りの会、年間35時間(小学1年生のみ34時間)の学級活動の時間、放課後活動の中で行いました。	事業の継続	教育指導課

主要施策 3-2 学校の教育環境の充実

事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算額
3-2-1	環境教育の推進	<p>環境と人間とのかかわりを学び、恵み豊かな環境やいのちを大切にすることを育む環境教育の充実に努めます。</p> <p>■環境出前講座等の実施 ★40件 ■環境教育アドバイザー等の派遣 ★244名 ■地球温暖化対策普及啓発映画会の開催 ★1回 126人参加 ■夏休み子ども向け自然観察会の開催 ★1回 15人参加 ■LEDの工作教室の開催</p> <p>鎌倉商工会議所、三菱電機照明(株)、三菱電機オスラム(株)、日亜化学工業(株)の協力を得て開催しました。★2回 70人参加</p>	事業の継続	環境政策課
3-2-2	学校評議員制度	<p>各学校が保護者や地域の方々の意見を広く聴き、地域に開かれた、また信頼される学校づくりを推進します。</p> <p>★設置率 100% (H20:100% H21:100% H22:100%)</p>	設置率の維持	教育指導課
3-2-3	世代間交流	<p>小中学校では、総合的な学習の時間等で、地域の保育所、幼稚園、障害者施設、老人ホーム等へ訪問し交流を深めます。また、地域のお年寄りを学校に講師として招いて知識、経験を子どもたちに伝えていきます。</p> <p>★市立小中学校で実施しました。 保育所では近隣の小学校、障害児者施設や老人ホームなどを訪問し、交流を深めます。また、地域のお年寄りを招いての交流を図ります。</p> <p>★保育園において、地域の中学・高校から総合的な学習や職場体験で1~3日受け入れました。また、小学校を訪問するなど交流を深めました。グループホームや地域のお年寄りや遊びや行事による交流を図りました。</p> <p>★公立3園(材木座、深沢、寺分)にておおぞら園との交流を実施。稲瀬川はきしろホームとの交流を実施。</p> <p>★小学校は3-1-3と重複</p>	事業の継続	教育指導課 保育課
3-2-4	教育相談事業の充実(実)	<p>教育センター相談室において、乳児から青少年の相談並びにいじめ・不登校等の教育相談を行います。不登校児童・生徒のために、教育支援教室等を設置し、自立に向けた支援を行います。</p> <p>■教育センター相談室 ★新規相談人数 288人 ■教育支援教室「ひだまり」 ★通室児童生徒数 12人 ■個別教育支援(相談室) ★相談件数 213件 ■心のふれあい相談員の配置 ★2-3-1参照 ■スクールソーシャルワーカーの派遣、スクールソーシャルワーカー・サポーターの導入 ★2-3-1参照</p>	事業の継続	教育センター

事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算額
3-2-5	幼児教育に関する研究 研修	<p>幼児教育に理解を深め、幼稚園・保育園と小学校との間で円滑な接続を図る観点に立って、相互理解と連携を深めるよう、その研究・研修活動支援の一層の充実を図ります。</p> <p>■幼児教育研究会 ★幼稚園・保育園・小学校の職員で研究会を構成し、テーマをもって実践的な研究に取り組み、研究の成果を「幼児教育」にまとめました。</p> <p>■幼児教育研修会 ■幼児教育研究協議会 ★幼稚園・保育園・小学校の職員が集まり、協議会を開催 1回 182人参加</p> <p>■幼保小連携研修会 ★幼稚園・保育園の各1園と小学校の1校の3か所で公開授業を行いました。</p> <p>■幼保小交流事業 ★市立小学校に幼保小交流事業担当者をおき、小学校区単位で交流事業の推進に努めました。</p>	幼児教育研究会・幼児教育研修会の継続	教育センター 153千円
3-2-6	心の教育の 推進・道徳教育の 充実	<p>生命を大切に、他人を思いやる心、美しいものや自然に感動する心を育てる教育を推進するため、道徳教育の充実に努めます。</p> <p>また、道徳教育の推進のために作成した資料集を使った模範授業を公開します。</p> <p>★未実施</p>	事業の継続 道徳教育資料集 vol.2 編纂	教育センター
3-2-7	国際社会への 対応	<p>外国人英語講師（ALT）を小学校にも派遣することにより、国際理解教育の充実を図ります。</p> <p>■5人の外国人英語講師（ALT）を、小学校5～6年生のクラスへ派遣し、授業を通して国際理解教育の充実を図りました。</p> <p>★年間 176日 1クラスあたり平均7～8時間</p>	事業の継続	教育指導課 15,915千円
3-2-8	情報化社会への 対応	<p>各教室でインターネット等が利用できるよう、校内LANの整備を進めるとともに、ITを活用した施策の充実に努めます。</p> <p>■小中学校教員を対象にしたコンピュータ研修 ★2回 39人参加</p> <p>■コンピュータ授業活用研修会 ★2回 26人参加</p> <p>★小学校校内LAN設置済</p>	事業の継続	教育指導課 教育センター 8千円
3-2-9	小学生と保育園児・幼稚園児の交流 （重複掲載 3-1-3）	<p>生活科の授業、総合的な学習の時間や小学校の行事等（運動会、各学校で行われる子どもまつり等）を通して、小学生と保育園児や幼稚園児の交流を推進します。</p> <p>また、就学を控えた園児と同じ地域の小学1年生が、一緒に活動し交流を行います。</p> <p>★3-1-3 参照</p>	市立小学校全校での実施を継続	教育センター 教育指導課 保育課
3-2-10	中学生と保育園児・幼稚園児の交流 （重複掲載 3-1-4）	<p>市立中学校の生徒が、保育所や幼稚園で総合的な学習の時間で「職場体験学習」や技術・家庭科の家庭分野の学習の中で「保育体験」を行います。</p> <p>★3-1-4 参照</p>	市立中学校全校での実施を継続	教育指導課 保育課

事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算額
3-2-11	各種育成行事	<p>子どもの健康維持・増進を図るため、各種の大会や教室を開催します。また、子どもたちの文化・芸術活動を活性化するため、活動成果を発表する場の提供に努めます。</p> <p>■小学校陸上記録大会 ★市内国立・市立小学校 6年生 ■小学校音楽会 ★市内国立・市立小学校 17校 ■鎌倉駅地下道ギャラリー50 展示 ★市内国立・市立小・中学校 15校 ■小学校児童作品展 ★市内国立・市立小学校 17校、入場者総数 5,380人 ■中学校音楽会 ★市内国立・市立中学校 10校 ■中学校生徒美術展 ★市内国立・市立中学校 10校 ■中学校演劇発表会 ★市内 1校 ■中学校総合体育大会 ★市内市立中学校 9校、国立 1校、私立 6校 ■中学校連合文化祭 ★市内市立中学校 9校 国立 1校</p>	事業の継続	教育指導課
3-2-12	安全で快適な学校教育環境の整備 (実)	<p>学校施設整備計画「改訂版」の内容に沿った事業を推進します。</p> <p>■公共下水道接続工事 ★玉縄小学校 ★関谷小学校 ■管理諸室空調設備工事 ★小学校 7校 (第一小・稲村ヶ崎小・腰越小・西鎌倉小・富士塚小・山崎小・玉縄小) ★中学校 3校 (腰越中・玉縄中・岩瀬中) ■特別支援学級教室改修工事 ★大船小学校</p>	事業の継続 (管理諸室空調設備工事については、平成 24 年度で終了)	学校施設課 93,146 千円
3-2-13	体験学習の推進	<p>福祉や環境問題などについて、実際の体験を通じて学習するため、総合的な学習の時間等を使って、校外活動等を実施します。</p> <p>★市立小・中学校全校で取り組みました。</p>	市立小・中学校全校での実施を継続	教育指導課
3-2-14	かまくら子ども議会の開催	<p>子どもたちが、市議会の模擬体験を通じて、市民生活と行政との関わりや、鎌倉市が直面するさまざまな課題について考えるとともに、自らの言葉で市長等と質疑応答を行うことにより、議会制民主主義への理解を深めながら地方自治の仕組みについて学習することを目的として開催します。</p> <p>★23 年度は小学校対象に実施し、市内国立・市立小学校・私立小学校 19 校から各 2 人、計 38 人が参加しました。</p>	小・中学校隔年での実施を継続	教育指導課



事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算額
3-2-15	個に応じた指導の充実	<p>少人数指導やチーム・ティーチングなどを実施し、児童生徒一人ひとりの興味・関心、習熟の程度等に応じたきめ細かな指導の充実を図ります。</p> <p>★指導法改善(少人数指導やチーム・ティーチング)をテーマとして、校内研修・実践教育を進めています。</p> <p>■少人数学級編製の導入</p> <p>★小学校1年生5学級、2年生4学級で35人学級を編制するために、県の定数配当の教諭が学級担任となり、市費非常勤講師をその後任として補充しました。</p>	事業の継続	教育指導課
3-2-16	読書活動の推進	<p>朝のホームルームの時間等を活用して読書活動に取り組めます。</p> <p>また、「図書館専門員」「読書活動推進員」を小・中学校へ派遣するなど、児童生徒の読書に親しむ環境づくりを進めます。</p> <p>■読書活動推進員を市立中学校全校(9校)へ派遣</p> <p>★各校月4日、5名派遣しました。</p> <p>■学校図書館専門員を市立小学校全校(16校)へ派遣</p> <p>★各校月12日、16人派遣しました。</p>	事業の継続	教育指導課
3-2-17	各種補助員 介助員の派遣	<p>水泳、運動部活動、日本語指導等専門性の高い分野や、特別支援学級・通常級に在籍する児童生徒の介助など、児童生徒の教育活動が円滑に進められるための各種補助員・介助員を派遣します。</p> <p>★水泳補助指導員 7人 (H20:9人 H21:9人 H22:9人)</p> <p>★日本語指導等協力員 2校4人 (H20:3校3人 H21:7校7人 H22:5校7人)</p> <p>★学級支援員 23校70人 (H20:16校27人 H21:16校27人 H22:21校46人)</p> <p>★特別支援学級への学級介助員等 7校18人 (H20:7校17人 H21:7校17人 H22:7校17人)</p> <p>★通常級への学級介助員 5校6人 (H20:4校4人 H21:3校3人 H22:3校5人)</p> <p>★運動部活動補助指導員 3校3人 (H20:3校3人 H21:3校3人 H22:3校3人)</p> <p>★スクールアシスタント 8校8人 (H20:5校5人 H21:8校8人 H22:8校8人)</p>	事業の拡充	教育指導課 44,864千円
3-2-18	ごみの発生抑制及び減量化、資源化啓発	<p>市内保育所、幼稚園や小中学校の児童生徒を対象にごみの発生抑制及び減量化、資源化のための啓発を行い、児童生徒はもとより、父母、家族までその意識を広める事業を行います。</p> <p>■環境教育</p> <p>★中学生への環境教育 6校 595人</p> <p>★小学生への環境教育 6校 559人</p> <p>★保育園児への環境教育 4園 190人</p> <p>★幼稚園児への環境教育 4園 455人</p> <p>★自治・町内会への環境教育 1回 25人</p>	事業の継続	資源循環課

事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算額
3-2-19	幼児教育の振興	<p>幼児教育の振興並びに充実のため、幼児教育についての情報提供を進め、幼児期の成長の様子や大人の関わり方について保護者や地域住民等の理解を深める事業を行います。</p> <p>★23 園中全園で実施</p>	事業の継続	私立幼稚園
3-2-20	里山体験学習	<p>小中学校の総合的な学習として受け入れ、年間通して農作業、谷戸保全作業、自然観察を指導します。また、単発的な谷戸保全作業体験をグループ・クラス・学年単位などで受け入れます。</p> <p>■深沢小学校2年「谷戸となかよし」 ★4回 126人 ■深沢小学校5年生「谷戸田の米づくり」 ★全9回 133人 ■御成中学校1年「谷戸保全活動」 ★1回 101人 ■教育支援教室 「ひだまり」「昔ながらの畑、二毛作」 ★10回 8人 ■湘南学園中学校2年生「谷戸の保全活動」 ★1回 36人 ■大船中学校1年生「谷戸保全活動」 ★1日 150人 ■市川市立福栄中学校2年生「谷戸保全活動」 ★1回 12人 ■富士塚小学校4年生「地元の昔の暮らし、昔の遊びを知る」 ★2回 40人</p>	事業の継続	NPO法人山崎・谷戸の会
3-2-21	幼稚園教諭の資質の向上	<p>幼児教育の資質向上のため、園内研修のみならず、定期的に行う園外教員研修に加え、免許更新制度導入に伴い、公的に認められた免許更新講習会を受講します。</p> <p>★23 園中全園で実施</p>	事業の継続	私立幼稚園
3-2-22	<p>高校生のための国際理解事業</p> <p>(H22 新規)</p>	<p>市内在住、在学の高校生を対象に、国際NGOなど現場の活動家などを招き、国際協力の意義、実情などを理解する事業。</p> <p>★年1回 26人参加</p>	事業の継続	文化推進課(秘書広報課) 20千円
3-2-23	<p>景観セミナー等の開催</p> <p>(H22 新規)</p>	<p>将来の鎌倉のまちづくり、景観づくりの担い手となる子どもたちに対して、体験学習や講習会等を実施し、鎌倉らしい景観形成の普及啓発に取り組みます。</p> <p>■親子景観セミナー 「宅間ヶ谷と旧華頂宮邸探検」 ★15組計31名の親子が参加 ■景観出前講座 ★市内高校で1回実施 (H22: 1回実施)</p>	事業の継続	都市景観課
3-2-24	<p>ようこそ先達事業</p> <p>(H23 新規)</p>	<p>文化、芸術など多くの人材に恵まれた本市の特性を活かし、文化人や芸術家に協力を仰ぎ小中学生に講演や演奏等をおして感動を届ける事業。</p> <p>★打楽器奏者による演奏(深沢小学校) ★宇宙工学技術者によるお話(大船小学校)</p>	事業の継続	文化推進課(文化人権推進課) 100千円



主要施策3-3 家庭や地域の子育て力の向上

事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算額
3-3-1	ブックスタート事業の推進 (実)	6か月児育児教室において、絵本の入ったブックスタートパックを贈呈し、絵本の読み聞かせの仕方などのアドバイスを行います。 ■ブックスタート ★48回 6ヶ月児1,012人 保護者等1,146人参加 ★パック受取率 94.5%(H20 94.9% H21: 93.3% H22: 95.3%)	受取率の向上	中央図書館 (見込額) 1,477千円
3-3-2	子育て支援センターの充実 (重複掲載 1-3-2・4-3-2)	子育て家庭に対してアドバイザーが子育ての情報提供や、育児相談に応じます。フリースペースの子育てひろばも設置します。 ★1-3-2・4-3-2 参照	未実施地域での整備を検討 [20年度3地域に設置]	こども相談課
3-3-3	生涯学習施設の提供	学校学習施設の一般開放を行います。また、市内の企業等が保有する施設などの利用について、調査・検討します。 ★提供している施設 学校開放学習施設 4校 (小学校3校 中学校1校 利用者数33,107人)	事業の継続	生涯学習課(教育総務課) 5,440千円
3-3-4	育児教室	親が子どもの発達段階に応じた家庭教育の方法を身に付けられるよう、専門の講師による講座等を開催します。また、育児経験に乏しい親たちの、育児への不安や悩みを解消するため、子育て教室・講座の開設に努めます。 ■6か月児育児教室 ★48回 保護者数1,031人(うち父25人) ■1歳児歯科育児教室 ★24回 保護者数872人(うち父22人) ■親子講座 ★9回 保護者数106人(うち父0人) ■親子セミナー ★15回 保護者数373人(うち父8人) ■ふたご・みつごのための親子講座 ★3回 保護者等数35人(うち父9人)	事業の継続	市民健康課
3-3-5	両親学級	妊娠及び出産後の母体の保護・日常生活の注意・育児の楽しさを一緒に学習します。 ■両親教室 12コース ★36回 426人(うち父171人)、延942人(うち父239人)	3日間コース12回の実施を継続	市民健康課
3-3-6	地域での子どもの参画活動	各種団体等の活動を通して、子ども同士や子どもと地域の人々の交流が図られるよう、各種の活動に対し積極的な支援に努めます。 また、新たなニーズへの対応、出張講座の検討をします。 ■出張講座を実施 ★子ども会館へ出張 23回	事業の継続	青少年課
3-3-7	子どものスポーツの育成	子どものスポーツを通じた体力の向上と仲間づくりのため、関係団体等の支援を図ります。 企業や関連団体と連携をとることにより子供のスポーツ参加のきっかけづくりの場を広げ、あらゆるスポーツを体験できる環境づくりを推進します。 ■体育協会加盟武道団体の指導支援による体験教室の開催 武道体験教室「武道で元気なからだづくり」 ★1回 112人 (H20: 1回 112人 H21: 1回 112人 H22: 1回 108人)	事業の継続	スポーツ課 58千円

事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算額
3-3-8	子ども会館・子どもの家における健全育成	地域社会の中で、児童の遊び場の拠点として、異年齢集団での遊びや仲間づくりのための居場所づくりに努めます。 ★1-3-1 参照	一日あたり平均来館者数 10%アップ	青少年課
3-3-9	学校開放の推進	子どもの地域活動の場として、校庭、体育館等、学校体育施設の開放を進めていきます。 ★市内公立小中学校全校で実施（25校）	市内公立小中学校全校での実施を継続	スポーツ課 16,779千円
3-3-10	青少年指導者の活動支援	子どもの地域活動を支える青少年指導者の活動を支援します。 ★鎌倉市青少年指導員の活動支援、研修会等の補助をしました。	青少年指導員連絡協議会への補助金交付を継続	青少年課 23千円
3-3-11	小学生リーダー・ジュニアリーダーの育成	集団活動や野外活動における基本的な知識と技術を身に付け、地域における青少年活動のリーダーとなれる人材を育成します。 ■子どもキャンプ ★小学生 59人参加 子どもキャンプで、活動班、就寝班のリーダーとして活躍しました。	研修会の実施を継続	青少年課 500千円
3-3-12	若者たちが育ち合う場の創設（重複掲載 4-3-4）	若者たちが気軽に相談でき、育ち合い、自主運営を目指せる場づくりを進めます。 ★平成 24 年度以降の事業化を目指し検討を進めます。	検討	青少年課 こどもみらい課
3-3-13	学習情報の収集と提供（重複掲載 3-1-1）	子どもや保護者等の多様な学習ニーズに対応するため、幅広い学習情報の収集と提供を行います。 ★3-1-1 参照	事業の継続	生涯学習課 （教育総務課） 4,500千円
3-3-14	各種育成事業	子どもたちの心豊かな育成に向けて、地域社会全体が協働して取り組む活動を支えます。 ■子ども写生大会 ★1回 236人 ■演奏会 ★2回 700人 ■おはなし会 ★50回 319人 ■おひざにだっこのおはなしかい ★60回 689人 ■一日図書館員 ★11回 78人 ■材木座海岸子ども教室“砂浜でかけっ子” ★8回 71人 ■子ども会への支援 ★運営費補助 72団体 ■青少年会館事業 ★延べ 669回 9,858人	子ども会・育成団体への支援、おはなし会、おひざにだっこのおはなしかい、一日図書館員、学童保育・子育てサークルへの訪問サービス、基礎体力づくり教室の継続	青少年課 中央図書館 スポーツ課 生涯学習課 （教育総務課） 子ども写生大会 53千円 演奏会 346千円
3-3-15	総合型地域スポーツクラブの育成	地域で多種目、多世代、多様な技能レベルに応じたスポーツを楽しむことのできるクラブの支援を図ります。 ★設立団体 1 クラブの普及、啓発事業を推進しました。 (H20: 設立団体 1・準備団体 1 H21: 設立団体 1・準備団体 1 H22: 設立団体 1)	設立団体 1	スポーツ課

事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算額
3-3-16	保育所の地域子育て支援	<p>全公立保育所にて園庭開放、行事参加や子育て相談など地域の子育てを支援する活動を進めます。</p> <p>■「広場にて」にて園庭遊び、人形劇、親子体育遊び(スポーツ課事業)等を実施</p> <p>★公立 7園(全園) 月1~2回 (H21、H22 公立園全園で実施)</p> <p>★子ども会館 年3回(7月~11月) (H22 年2回(9月、11月))</p>	支援内容の充実	保育課
3-3-17	放課後子ども教室 (重複掲載 4-3-5)	<p>放課後や週末等に小学校の余裕教室等を利用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともにスポーツ活動・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施します。</p> <p>■稲村ヶ崎小学校で実施</p> <p>★8教室 平日38日 土曜日21日 参加者数 延1,062人</p>	事業の継続	生涯学習課 (教育総務課) 802千円
3-3-18	放課後子どもプラン (重複掲載 4-3-6)	<p>「放課後児童健全育成事業」と「放課後子ども教室推進事業」を連携して行うもので、すべての子どもを対象として、放課後の安全で健やかな居場所づくりをめざします。</p> <p>■稲村ヶ崎小学校で実施</p> <p>★8教室 平日38日 土曜日21日 参加者数 延1,062人</p>	事業の継続	生涯学習課 (教育総務課) 青少年課
3-3-19	スポーツ活動の促進	<p>子どもたちに様々なスポーツを紹介し体験することにより、自分にあった運動を見つけられるよう生涯スポーツの推進を図ります。</p> <p>また、スポーツ活動を通して体力向上に役立て健やかに成長することを目的に、子どもの体力調査を実施します。</p> <p>自分の体力がわかる体力測定の実施、自分にあった運動を見つけるために様々なスポーツ体験ができる環境づくりを進めます。</p> <p>■子どもの体力測定 ★1回37人</p> <p>■武道体験教室(武道で元気なからだづくり) ★1回112人 (3-3-7 重複)</p> <p>■幼児・小学生子ども体操教室 ★幼児教室2教室36人 ★小学生教室2教室16人</p> <p>■チャレンジ・スポーツ ★3回74人</p> <p>■巡回教室 楽しくスイミング ★7回101人</p> <p>■派遣教室(親子体育遊び(稲瀬川保育園)) ★1回99人</p> <p>■マリンスポーツの体験教室 (ヨット・ウィンドサーフィン等) ★2回21人</p> <p>■山野でかけっこ ★10回63人</p>	体力テストや体験教室の継続	スポーツ課 349千円
3-3-20	多世代交流地域共同拠点の創設 (重複掲載 4-3-7)	<p>地域資源の活用等により一般家庭の開放も含め、多世代が交流しあえる地域の拠点づくりを支援します。</p> <p>★地域の拠点づくりについて、市社協との協働事業による地域福祉支援室が情報収集を行うなど、調査研究を進めました。また、身近で交流できる「つどいの場」づくりを推進するため、「空き家、空き店舗等情報登録制度」を設けています。</p>	事業の検討	福祉政策課 (福祉総務課) こども みらい課
3-3-21	「市長への手紙(子ども版)」「わたしの提案(子ども版)」(名称変更)の設置	<p>子どもの夢や希望を市政に生かすことを目的に、「市長への手紙(子ども版)」(平成24年2月から「わたしの提案(子ども版)」に名称変更)を全市立小中学校、全子ども会館・子どもの家及び青少年会館に設置します。</p> <p>★投書件数 5件</p>	事業の継続	市民相談課 こども みらい課 教育指導課 青少年課

事業名		事業内容	方向性	実施主体 決 算 額
3-3-22	青少年健全 育成活動	<p>青少年の健全育成のため、各地域で青少年団体への活動支援や文化・レクリエーション活動を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■チャレンジ広場「体育館であそぼう」 ★100人 ■フットマーク塗り(玉縄地区) ■各地域のお祭りに参加 ■子ども映画館(玉縄地区) ★222人 ■ホタル鑑賞会(広町) ★70人 ■ソバ打ち教室(腰越地区) ★35人 ■研究会 <ul style="list-style-type: none"> 「講演とゲーム研修(アドベンチャー教育手法を生かしたコミュニケーション)」 ★42人 ■「身近な材料を使って、子どもが作って遊べるものをつくらう」 ★43人 ■手作り工作教室(※各地域のイベント時に) ★150人 ■鎌倉市世界遺産登録推進に向けての中学生作文コンクール ★400人 ■重要建築物、看板、道路のマーク探し <ul style="list-style-type: none"> 「町なかのマークを探そう」 ★21人 ■魚料理教室 <ul style="list-style-type: none"> (子どもたちと一緒に腰越の魚を使って料理を作る) ★30人 ■子どもたこあげ大会 ★雨天のため中止 ■子どもキャンプ(県立足柄ふれあいの村1泊)※委託事業 ★108人 ■各地区ふれあい広場 	事業の継続	鎌倉市青少年 指導員連絡協 議会
3-3-23	家庭と地域 の教育力活 性化セミナー	<p>家庭と地域の教育力をより高めるために、様々なテーマ(青少年の心理、生命の大切さ、食育、安全・安心等)で講演会や講習会を開催します。</p> <p>★3回開催</p>	事業の継続 地域との連携を 推進	鎌倉市PTA 連絡協議会



事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算額						
3-3-24	鎌倉てらこや事業	<p>地域の子どもたちが主体的に生き、活動できる拠点をつくり、成熟した地域社会を創造します。</p> <p>子どもたちの魂を輝かせるために、自然、歴史、伝統、文化、宗教的な環境の下で、遊び、学び合い、感動体験を培います。</p> <p>親たちは、子どもとともに学び、自らを育み、自立したよき大人に生まれ変わることを目指します。</p> <p>★土と遊ぼう(陶芸事業) 年9回 172人 ★田んぼ(稲作事業) 年8回 155人 ★宿泊体験合宿(合宿事業) 年2回 218人 ★朗読事業 年8回 258人 ★博報『世界こども日本語ネットワーク推進』助成事業 年1回 45人 ★小学校の総合学習への参画 年8回 160人</p>	事業内容の拡充	NPO法人鎌倉てらこや						
3-3-25	一日深沢プレーパーク	<p>子どもたちの健全育成と地域の大人たちの交流を目的とした「冒険遊び場」活動を行います。(常設が目標)</p> <p>★かまくら子育て支援グループ懇談会主催の「一日冒険遊び場」に年12回協力しました。</p>	事業の継続 プレーパークの常設化に向け拡充	鎌倉あそび塾						
3-3-26	青少年のボランティア体験学習活動	<p>青少年の福祉に対する理解と福祉意識の向上のために、高校生・大学生を対象に福祉施設の体験を実施しています。体験で学ぶ「福祉の心」「ボランティア精神」を培います。</p> <p>★平成23年8月1日～8月8日 延べ36名</p>	事業の継続	鎌倉市社会福祉協議会						
3-3-27	助成事業	<p>児童の健全育成のために、小学生を対象としたスポーツ団体に助成金を交付しています。</p> <p>★年1回鎌倉市サッカー協会、鎌倉野球協会児童部に助成</p>	事業の継続	鎌倉市社会福祉協議会						
3-3-28	てらハウス事業	<p>商業ビルの空き店舗に、子ども・保護者・学生ボランティア・地域ボランティアが集い、“本気”で学び、遊び、語り合う居場所をつくります。そのようにして過ごす時間から子ども自身が「やりたい」と思うことを発見し、スタッフの力添えを得ながら自らの力で実現することを目指します。</p> <p>★54回実施 321人参加 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>H21年度新規</td> <td>32回</td> <td>457人参加</td> </tr> <tr> <td>H22年度</td> <td>38回</td> <td>521人参加</td> </tr> </table> </p>	H21年度新規	32回	457人参加	H22年度	38回	521人参加	事業内容の拡充	NPO法人鎌倉てらこや
H21年度新規	32回	457人参加								
H22年度	38回	521人参加								
3-3-29	子どもお泊り里山体験	<p>昔ながらの農作業、自炊など里山体験をします。谷戸の収穫物を味わい、山崎地区の昔の暮らしの話を聞きながら里山の暮らしを体験します。</p> <p>★1回(1泊2日) 20人</p>	事業の継続	NPO法人山崎・谷戸の会						



事業名	事業内容	方向性	実施主体 決算額
3-3-30 競技スポーツ 活性化のための 啓発 (H23 新規)	<p>オリンピックや世界大会で活躍しているトップアスリートの演技を観戦したり、指導を受けることで、何事にも目標を持ってチャレンジしていく気持ち育みます。</p> <p>また、ジュニア期から競技スポーツの向上を図り鎌倉から未来のオリンピック選手を目指します。</p> <p>■ 徳洲会体操クラブの選手による公開練習及び交流会 ★1回 118人 (H20:1回 96人 H21:1回 141人 H22:1回 132人)</p> <p>■ かながわアスリートネットワーク協働事業 ★ “宮崎正裕先生に剣道の基礎を学ぶ” 1回 92人 (H22: “中西英敏先生に柔道の基礎を学ぶ” 1回 30人)</p>	事業の継続	スポーツ 課 100千円



一日冒険遊び場



主要施策3-4 子どもを取り巻く有害環境対策の推進

事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算額
3-4-1	青少年健全育成に関する啓発	青少年健全育成に向け、各団体・生徒などによる街頭キャンペーンを年2回実施します。 ★51団体 284人参加（悪天候により、2回のうち1回中止）	事業の継続	青少年課
3-4-2	街頭指導活動の推進	街頭補導活動等による青少年の問題行動の早期発見と未然防止に努めます。 ★13回 110名	事業の継続	青少年課
3-4-3	社会環境実態調査及び有害図書類区分陳列等調査の実施	カラオケボックス、インターネットカフェ・まんが喫茶の社会環境実態調査及び書店・古書店の有害図書類区分陳列等の実態調査を行います。結果を神奈川県で集約し、関係業界団体に改善を要請します。また、店舗等への指導を検討します。 ★社会環境実態調査 1回 ★有害図書類区分陳列等調査 1回	事業の継続	青少年課
3-4-4	学校と警察の連携の強化（重複掲載4-2-4）	各学校と警察の連携により、学校・警察連絡協議会を設置し、不審者・変質者等の情報の連絡体制を整え、児童・生徒・学生の健全育成に努め、子どもを犯罪等の被害から守ります。 ★不審者情報提供件数 34件 ■鎌倉署管内学警連 役員会 ★1回 協議会 ★2回 ■大船署管内学警連 役員会 ★1回 協議会 ★2回 ■鎌倉市学警連全体協議会 ★1回	事業の継続	教育指導課

